

# ジオデータベースの作成演習

# ジオデータベース

空間データを作成するための基本作業

## STEP 1 データの準備と座標系の確認

- ・フォルダ 「ファイルジオデータベースの作成」 に移動
- ・フォルダ 「data」 の中身を確認 → 5つのシェープファイルがある
- ・「flowline」を右クリック―「プロパティ」―「XY 座標系」を確認

名前 (呼び名)	投影法 (Projection)	地理座標系 (Geographic Coordinate System)

## STEP2 ファイルジオデータベースの作成（図書館の建設と本棚の設置）

- ・必ずしも作る必要はないが、大きいシステムになる場合は作った方がメリットが大きい

イメージ



図書館

ジオデータベース



本棚

データセット



本

フィーチャークラス  
(シェープファイル)

- ・フォルダ 「03\_ファイルジオデータベースの作成」 を右クリック―新規作成―ファイルジオデータベース
- ・名前を「図書館.gdb」とする → **図書館ができた！**
- ・「図書館.gdb」を右クリック―新規作成―フィーチャデータセット
- ・名前を「本棚」とする → **本棚ができた！**
- ・「日本周辺の投影座標系」―「平面直角座標系」―「日本測地系2000(JGD2000)」―「平面直角座標系 第9系(JGD2000)」
- ・「日本周辺の鉛直座標系」―「東京湾平均海面」 → **本棚の位置決めができた！**
- ・完了をクリック

### STEP 3 ファイルジオデータベースの作成（本棚へ本を並べる）


- ・「本棚」をクリック→インポート→フィーチャクラス(マルチプル)
- ・フォルダ「data」の中身を全部選んで、入力フィーチャ欄へ追加
- ・OK をクリック → **自動的に本棚へ本を並べる作業が始まる！**
- ・「本棚」の中身を確認 → フォルダ「data」の中身と同じファイル名→**本並べ完了！**

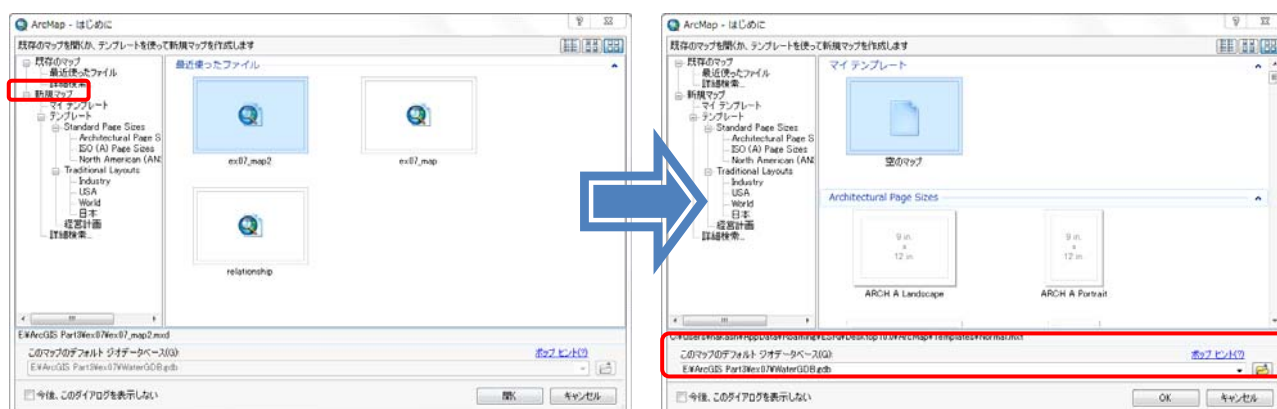
### STEP 4 フィーチャクラスへのエイリアス設定（本にわかりやすいラベルをつける）

- ・「本棚」の「flowline」を右クリック→「プロパティ」→「一般」
- ・「エイリアス」の欄で「flowline」を「流水線」に変更
- ・同様に、以下を設定

「natural_river」	→	「自然河川」
「structure」	→	「河川構造物」
「water_gate」	→	「水門」
「watershed」	→	「集水域」

### STEP 5 ArcMap で表示

- ・最初に「ArcMap-はじめに」が現れたら、左側で「新規マップ」をクリック
- ・「空のマップ」が選択されていることを確認
- ・一番下の「このマップのデフォルトジオデータベース」欄で、 をクリックし、「図書館.gdb」を選択



- ・ArcCatalog で「図書館.gdb」の中の「本棚」を表示
- ・「本棚」をArcMap ヘドラッグ&ドロップ
- ・地図が表示されれば OK
- ・以上、ジオデータベースで作成した地図データが完成し、次の作業が可能になりました